

# 高校生との意見交換会 2021 報告書

令和4年3月  
広聴広報委員会

## 目次

はじめに .....	2
1 実施概要 .....	3
2 主な意見及び要望 .....	5
3 考察 .....	9
4 アンケートの結果 .....	10

## はじめに

那須塩原市議会では、「高校生との意見交換会」と称して市内の黒磯高等学校、黒磯南高等学校、那須清峰高等学校、那須拓陽高等学校へ赴き、主権者教育及び意見交換会を開催しており、令和元年度から今回で3回目の開催となった。

主権者教育では、市政や議会活動への興味関心を喚起することを目的に、議会の仕組みを説明し、また、那須塩原市選挙管理委員会の協力を得て、模擬投票や選挙啓発を実施した。意見交換会では、地域の構成員としての意識を醸成し、まちづくりについて考えるきっかけを作ることを目的に、「私たちが住むまちに、私たちが将来やってみたいこと」をテーマに意見交換を実施した。

今回は、昨年12月に那須拓陽高等学校へ赴き開催することができたが、他の3校については新型コロナウイルス感染症の急激な拡大に伴った学校側の意向を尊重し、開催を見送ることになった。1校のみの開催となり、誠に残念であるが100件近い意見が寄せられたので、高校生との意見交換会2021報告書を作成した。

令和4年3月22日

広聴広報委員長 中里 康寛

# 1 実施概要

## 事業の位置付け

前回\*とは異なり、議会報告会から独立した事業とした。

※令和2年2月に「第14回議会報告会～高校生との意見交換2020～」として実施した。

## 日時と会場など

### 日時

令和3年12月17日（木）午後4時から午後6時まで

### 会場

那須拓陽高等学校

### 参加者数

31名 全て那須拓陽高等学校の生徒

## 体制について

### 那須塩原市議会

#### ○広聴広報委員会

中里 康寛	益子 丈弘	林 美幸	森本 彰伸
小島 耕一	山形 紀弘	齊藤 誠之	星 宏子

#### ○協力議員

広聴広報委員以外の議員で、参加希望のある議員を募集した。

三本木直人	星野 健二	佐藤 一則	平山 武
齋藤 寿一	山本はるひ		

### 那須塩原市選挙管理委員会

主権者教育のため、模擬投票等を担当した。

## 内容について

---

### 全体の構成

---

「第14回議会報告会～高校生との意見交換2020～」の内容を踏襲したが、議会報告会とは独立した事業と位置付けたため、議会報告は行わなかった。

(1) 議会の仕組の説明

パワーポイントで作成したスライドを使いながら、制度の説明を委員長が行った。

内容は、中学校の出前講座と同様とした。

(2) 意見交換 テーマ「私たちが住むまちに、私たちが将来やってみたいこと」

8班に分かれ、模擬投票を行うことを説明した上でワークショップを行った。

(3) 模擬投票

実際の選挙時に使用する投票用紙と同じ用紙を使った。記載台や投票箱も用意し、本番さながらの環境を用意した。

(4) 選挙啓発

開票作業中に選挙啓発動画を流した。

(5) 選挙制度の説明と結果発表

投票結果の発表を織り交ぜながら、選挙制度の説明を行った。

## 2 主な意見及び要望

### テーマ 私たちが住むまちに、私たちが将来やってみたいこと

#### まちづくりに関すること

---

- (1) 過疎地域の活性化をしたい
- (2) 市が行う PR 活動を見直す
- (3) 姉妹都市との交流
- (4) 国際交流を目的としたイベントをやりたい
- (5) 地域の人との交流の場を増やす
- (6) 時代のニーズにあった地域の PR をしたい
- (7) 若い世代に市の魅力を伝える活動をしたい
- (8) 栃木県を日本の首都にしたい
- (9) 自分が住んでいる市のことを他の市の人に伝えたい
- (10) 市の良さをアピールできるような機会を増やす

#### 駅前に関すること

---

- (1) レンタル自転車を駅前に設置する
- (2) 駅の近くにみんなが集まれるような施設がほしい
- (3) 駅前に立ち寄れる場所を作ってほしい
- (4) 駅の近くに駐車場をつくる
- (5) 駅前のお店をもっと増やしたい

#### 施設に関すること

---

- (1) グラウンドや野球場などのスポーツ施設を増やす
- (2) 新薬ワクチン開発研究所をつくる
- (3) プロゴルファー育成を目指し、ゴルフコースをつくる
- (4) 福祉施設をもっと増やす
- (5) 廃校舎を有効活用をする
- (6) 後先考えない建設を減らす
- (7) イベントやライブができるドームのような施設をつくりたい
- (8) 休日に遊べる自然豊かな公園をつくる
- (9) いろいろな体験施設の実施
- (10) 日本庭園のある大きな公園をつくる

## 商業・工業に関すること

---

- (1) イベントをもっとやる
- (2) 服屋をつくる
- (3) ショッピングモールをつくる
- (4) 最新のものを取り入れたカフェ
- (5) 店の駐車場を広げる
- (6) 有名な店やレストランを誘致
- (7) 映画館を作る
- (8) 大きなショッピングモールで買い物したい
- (9) 住宅街に買い物ができる店などをつくる
- (10) ショッピングモールをたくさんつくりたい
- (11) 映画館やカラオケなど、地域みんなが楽しく遊べる場所をつくる
- (12) お祭りをやりたい
- (13) 地域のお店と学校がコラボする食べ物フェスをしたい
- (14) おしゃれな商店街を増やす
- (15) 大型ショッピングモールがほしい
- (16) パターン化された仕事を AI と置き換える
- (17) AI に置き換えられる仕事なら、高齢者に置き換えて経済を回す

## 農業に関すること

---

- (1) 農家が減ってきているので、若者に農業の良さを伝えたい
- (2) 農地の<sup>かいはい</sup>壊廃を減らす
- (3) 農業をやりやすく機械化を進める
- (4) 園芸療法の場をつくる
- (5) 農家を増やして地産地消
- (6) 栃木の有名ないちごにかける練乳をつくる
- (7) 農業を儲かるようにしたい
- (8) ブランド牛を生産する
- (9) 農業が盛んであるという利点を活かし、地産地消を推進したい

## 観光に関すること

---

- (1) 栃木の自然を活かした自然観光の場を増やす
- (2) 観光客が来るような場所をもっと増やしてほしい
- (3) 観光客誘致のために施設を増やす
- (4) おいしい食べ物を増やす
- (5) 印象に残るような観光名所をつくる
- (6) 東京タワーのような、象徴となるようなシンボルをつくる
- (7) 温泉を増やす

## 環境に関すること

---

- (1) きれいな町づくりをする
- (2) 自然と共生したまちづくりをしたい
- (3) 自然を活かしたイルミネーションを行う
- (4) ゴミのポイ捨てをなくす
- (5) 色々な自然とふれあう
- (6) 自然を活かしたアスレチックをつくりたい
- (7) 空き地に花を植えて花畑にする

## 交通に関すること

---

- (1) バスや電車の本数を増やしてほしい
- (2) 道路を広くし、舗装を整備する
- (3) 信号の数を増やしたり道路を整備したりする
- (4) 運転マナーを改善する
- (5) 駅を使いやすくする
- (6) 雪が降ったときに峠を通りやすくしてほしい
- (7) タクシーを増やしてほしい
- (8) 夜安心して歩けるように、街灯を増やしてほしい
- (9) バス（電車）の行先を多様にする
- (10) 横断歩道を増やす
- (11) 道路標識を目立たせる
- (12) 歩道を増やす（広げる）
- (13) バス停をつくる
- (14) 駅をつくる
- (15) 交通事故を減らしたい

- (16) 自転車の通りやすい道を作りたい
- (17) 栃木県のすべての駅にお店（おみやげ コンビニ）などを併設したい
- (18) 高齢者の移動手段を増やす
- (19) 交通網を増やす
- (20) 娯楽施設への交通の便をよくしたい

#### 教育に関すること

---

- (1) 学校にフリーWi-Fiがほしい
- (2) 校内にコンビニや購買部がほしい
- (3) FC弁当（那須拓陽高校の生徒が開く「FCカフェ」で販売される弁当）を市役所で売る
- (4) ボランティアをしたい
- (5) 学校のトイレをきれいにしたい
- (6) 学校施設を新しくする
- (7) 教材のデジタル化を図る
- (8) 学校の規則の髪形や髪色の指定を自由にする
- (9) 高校にエレベーターをつくる
- (10) 子育てしやすい環境づくり
- (11) 図書館の利用時間を延ばす
- (12) 図書館の本を増やす
- (13) 図書館のような勉強できる場所をつくる

### 3 考察

今回は、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により、那須拓陽高等学校以外は開催が叶わなかった。

主権者教育では、議会の仕組みについて、パワーポイントで作成したスライドを使いながら制度の説明を行った。また、投票用紙や記載台、投票箱も実物を用意し、本番さながらの環境を整え、それぞれの班の意見を発表し、どの意見が一番共感できるかについて模擬投票を行った。意見交換では、「私たちが住むまちに、私たちが将来やってみたいこと」をテーマに、8班に分かれ参加議員がファシリテーターとなりワークショップを行った。結果については、31名の参加があり、全員からアンケートの回答をいただいた。

アンケートでは、意見交換会について8割の参加者から、「とてもよかった」との回答が得られ、さらに、市議会や選挙に関心が持てたかについては、9割の参加者から「関心を持てた」との回答が得られた。また、18歳になったら選挙（投票）へ行こうと思うかについては、6割の参加者から「必ず行く」との回答が得られた。

今回の高校生との意見交換会 2021 で得られた意見・要望等については、各議員で研究や政策提言などに活用していただきたい。

今回においても、コロナ禍であったが、若年層に対して市政や議会活動への興味関心を喚起し、充実した意見交換会が開催できた。関係各位に感謝を申し上げて考察とする。

## 4 アンケートの結果

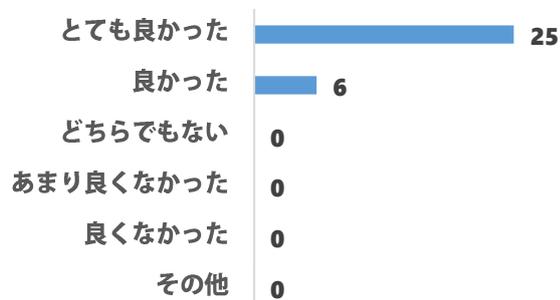
### アンケート回収数

アンケート回収数 31枚（回収率 100%）

### アンケート結果（自由記述欄は一部抜粋）

問1 本日実施した意見交換会2021(全体)について、あなたの評価に最も近い項目に印をつけてください

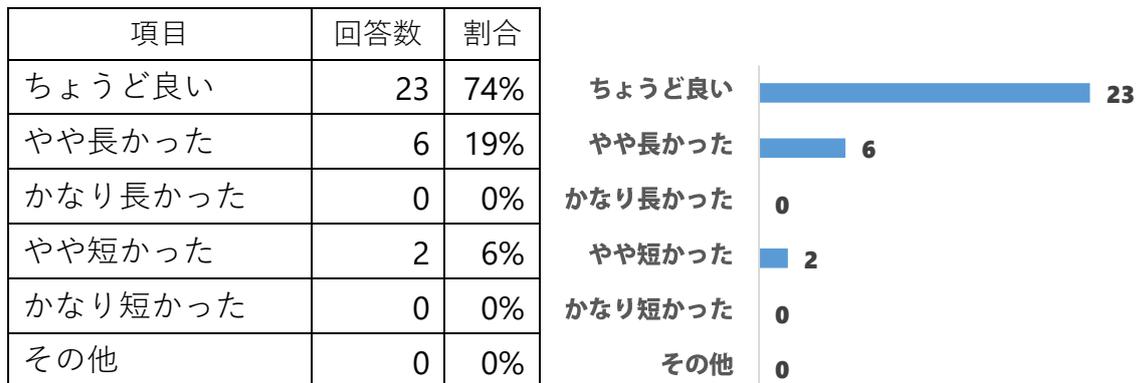
項目	回答数	割合
とても良かった	25	81%
良かった	6	19%
どちらでもない	0	0%
あまり良くなかった	0	0%
良くなかった	0	0%
その他	0	0%



#### ■ 「とても良かった」、「良かった」の理由

- (1) 市議会議員の方とたくさん話すことができたから
- (2) 最初は緊張していたが、とても話しやすい環境で、自分の意見も言いやすかったから
- (3) グループで将来のことを考えながらとても楽しくできたから
- (4) 選挙について詳しく楽しく学ぶことができた
- (5) あらためて、選挙の仕組みなどを知ることができたから

問2 実施時間について、あなたの評価に最も近い項目に印をつけてください



■ 「ちょうど良い」の理由

- (1) 2時間、とても充実していたから
- (2) 話し合う時間もちょうどよく、スムーズにできたから
- (3) 選挙について細かく知ることができたから
- (4) 話合いや、選挙における説明など、興味を持って聞きくことができた

■ 「やや長かった」の理由

- (1) 説明の時間が長くて集中力がきれてしまった

■ 「やや短かった」の理由

- (1) それぞれの意見について深く考える時間が少し短く感じたから

問3 本日のテーマについて、あなたの評価に最も近い項目に印をつけ、理由もあればお書きください

項目	回答数	割合
とても良かった	23	74%
良かった	8	26%
あまり良くなかった	0	0%
全く良くなかった	0	0%
その他	0	0%



■ 「とても良かった」、「良かった」の理由

- (1) 将来自分は何がしたいのか普段あまり考えることがなかったため、良い機会となったから
- (2) 未来のことを考えて、楽しみになったから
- (3) 意見をどのようにまとめるか皆で考え、とてもいい公約をつくれたから
- (4) 地域について考え直すよい機会になった
- (5) 身近なことから話せたので、とても考えやすかった

問4 グループ公約（マニフェスト）を作成してみて感じたことを、ご自由にお書きください

- (1) 一人一人の意見が、町の夢へつながるのがおもしろいと思った
- (2) バラバラのものを一つにまとめるのは大変だと思った
- (3) 一つ一つがバラバラに思えても、考えてみると、ちゃんとつながっているのだと感じた
- (4) つくるのが意外と難しかったけど深い話し合いができました
- (5) 班員からも様々な意見が出て、学年の垣根を越えて、自分の出した案に修正を加えてくれて嬉しかった

問5 今回の選挙(投票)の結果を受けての感想をご自由にお書きください

- (1) 一番票の多かったところは、話すのも上手だったので、演説などの重要性を感じた
- (2) くやしい気持ちもあったけど、将来の選挙としてとてもよい経験だった
- (3) 票を得ることの難しさが分かった
- (4) 実際とはテーマが大きく違うけど、投票の仕方など細かく知ることができてよかった
- (5) 人の心を魅了するような公約が票を得ることができるのだと実感した

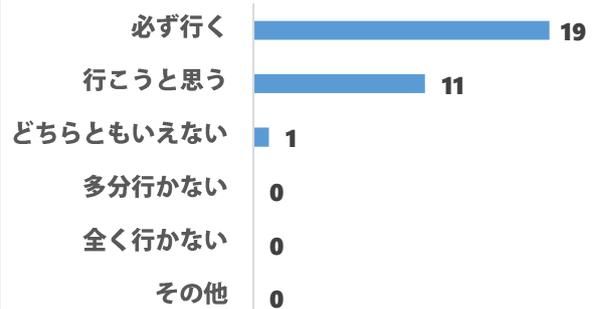
問6 今回の意見交換会や主権者教育を受けてみて、市議会や選挙に関心が持てましたか？印をつけてください

項目	回答数	割合
関心を持てた	30	96%
関心は持てなかった	0	0%
どちらともいえない	1	3%
その他	0	0%



問7 18歳になったら選挙(投票)へ行こうと思いますか？印をつけ、理由もあればお書きください

項目	回答数	割合
必ず行く	19	61%
行こうと思う	11	35%
どちらともいえない	1	3%
多分行かない	0	0%
全く行かない	0	0%
その他	0	0%



■ 「必ず行く」、「行こうと思う」の理由

- (1) 自分も自分の町に貢献したいと思ったから
- (2) 自分たちの未来を築くためにも、投票へ行こうと思った
- (3) 少しでも暮らしやすくしたいと思うから
- (4) 一つの意見でも投票することによって変わると思うから

- (5) 若者の投票が必要だから
- (6) 選挙の大切さを知ることができたから

■ 「どちらともいえない」の理由

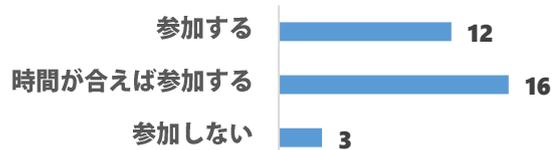
- (1) 興味は持てたが当日になると面倒だと思ふかもしれないから

問 8 今後、どの様なテーマであれば、意見交換会に参加してみたいと思いますか、ご自由にお書きください

- (1) 次回も同じようなテーマで参加してみたい
- (2) よりよい風景をつくるためにどうすれば良いか
- (3) 特産品を考える（そのPR方法含め）食べ物など…
- (4) 自分の理想のまちづくり
- (5) 自分達の高校生活をよりよいものにする
- (6) 農業の活性化について

問 9 今回の意見交換会を体験してみて、議場で発言できる機会があったら参加してみたいと思いますか

項目	回答数	割合
参加する	12	39%
時間が合えば参加する	16	52%
参加しない	3	10%



問 10 その他、市議会へご意見等があれば、ご自由にお書きください

- (1) 私たちのために動いてくださる人が多くいることを知りました。頑張ってください。
- (2) 選挙への興味がわきました！

# 写真

